

# 牧草と園藝

夕張郡沼川字幌内一〇六六  
雪印種苗株式會社  
中央研究農場



雪印種苗株式會社

# トマトの作型と品種の使いわけ

## トマトの作型

トマトは特に鮮度が要求されることから、気象条件の不利な北海道でも充分府県物と対抗できる有利な野菜の一つである。そこでトンネルを利用した早熟栽培から、さらに早く収穫のできるハウスに移り、ハウス栽培も年々播種期が早められてきている。しかし一方では需要の多い7～9月収穫の露地栽培用品種について、耐病性、耐省力性など関心が集められている。

トマトの作型と品種

作型	栽培法	播種期	定植期	収穫期	適品種の条件	品種
促成	ハウス	月 月 1下～2上	月 4上～中	月 月 6上～7下	低温着果性 早生中果	福寿二号 宝冠一号
早熟	トンネル	2下～3上	4下～5上	7上～8下	大果、良質、耐病性	ひかり いしかり
露地	露地	3中～4上	5下～6上	8上～9下	同上、早生	ひかり 日の出

## トマト品種の使いわけ

### 促成栽培

播種期が早められる傾向にあり、加温しても積雪下に育苗されるため、なんといっても寡日照下、低温にても着果の良好なことが条件になり、ホルモン処理によって果形のくずれないことが大切である。収穫期の後半、トンネルものと競合するため三段摘心密植栽培が検討されており、早熟性も重要な条件と考えられる。一般には**福寿二号**が最も多く使われている。

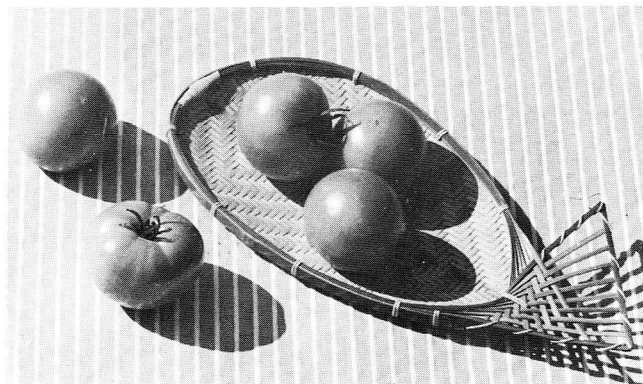
### トンネル栽培

定植時期はまだ降霜期でもあり、ハウスのように管理がゆきとどかないこともあり、低温着果性も主

要な条件の一つになる。それに加えて耐病性、省力的な面から大果種が望まれる。現在の品種では**ひかり**、**大型福寿**、**いしかり**、**宝冠二号**などで代表されている。

### 露地栽培

品種はトンネル栽培と同一のものが考えられる。ただ本栽培型では地温の上昇をまって比較的若苗で定植され、より粗放的な管理がともなうので、稚苗時からの耐病性が一層要求される。また土質に対する適応性に差があり、肥培法、集約度によって品種を選定するのが得策である。



美園交配  
いしかり